

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調査

5-Ⅱ-6

5-Ⅱ-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	佐渡特産品の販路拡大
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	6 佐渡特産品の販路拡大	事業主体	佐渡市地域産業振興課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市農業政策課、佐渡商工会連絡協議会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山ブランドを活用した販売戦略により、高付加価値化を推進し、佐渡産品の販路拡大を図り、地場産業の振興を行う。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山PRと連携し、佐渡産品のブランド価値を高め、情報発信・展示・販売を積極的に行い、佐渡産品の販路拡大を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡産品(一次・二次産品、工芸品)と観光、芸能等を組み合わせたクロスボーダーやDX活用でプロモーションやブランディングサポートを実施し、島内外での販路拡大を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税における新規商品300品目 ・百貨店等での取扱量拡大 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ サドメシラン認定店の認定店舗数拡大にあわせ、佐渡産食材の販路拡大を図ってきた。島外においては、各種イベント時にタイアップしながら、物販を行い、令和3年度からは、佐渡まるしえを活用し、島内外の消費者へアピール、販売している。金山の坑道を活用した追熟・貯蔵により、金山ルレクチエとして高単価での販売を行うほか、金山みかんについても有利販売につなげるため、実証した。 		
事業計画と実績	<p>【R6年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 協定先等と連携した佐渡産品流通量拡大とブランディング、島の玄関口である佐渡汽船ターミナルにおいて無名異焼×日本酒のクロスボーダーによる産品プロモーション、佐渡無名異焼の付加価値化及び認知度向上を図るための伝統的工芸品指定の推進 <p>【R6年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三越伊勢丹での商談参加数:20社、販売会採用数:20社、イベント期間売上(越品内):2,106千円(2,739点) ふるさと納税返礼品商品掲載数:約1,000品 国の伝統的工芸品指定 		
事業評価	<p>【ゴールに対する計画終了時の達成度】</p> <p>{ A・B・C }</p> <p>◇ 概ね予定どおり達成した</p> <p>継続取扱いなど、常設に向け効果的なイベントの実施と連携協定先の百貨店と協働したフィードバックや販売機会により産品の魅力向上と価値向上につながる取り組みができた。また、これによりふるさと納税返礼品の産品掲載数や産品の付加価値化が図られ、全体納税額も拡大している。</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現段階の佐渡産品の認知度としては、米及び酒・おけさ柿が大きく割合を占めている。「佐渡島の金山」とも親和性の高い「佐渡無名異焼」が国の伝統的工芸品指定を受けたことに伴い、さらに裾野を拡げた歴史文化に紐づくストーリー性を活かしたPRが必要。 		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。